

## 安曇野高橋節郎記念美術館

TEL 81・3030 FAX 82・0551

展覧会「山本安曇と高橋節郎  
同郷、同窓の2人の工芸家」展

郷土出身の鍔金作家・山本安曇の金工作品と、漆芸家・高橋節郎の漆作品を展示する企画展を開催します。2人は同じ穂高の出身で、ともに現在の東京藝術大学に学び、その後工芸家としての道を歩みました。この展覧会では、彼らの芸術と故郷とのかわりについて探ります。

- 会期 7月16日(土)～8月28日(日) 9:00～17:00
- 休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
- ※7月15日(金)は展示替のため臨時休館します。
- 観覧料 一般600円(500円)、高校・大学生400円(300円)、中学生以下・70歳以上は無料( )内は20人以上の団体料金



山本安曇 八重瀬路 穂高神社所蔵

漆の作品ができるんだ  
「漆を金と貝で飾る」

## 漆パネル制作講座参加者の募集

漆の小パネルに、漆芸技法を施してオリジナル作品を制作します。

- 日時 8月20日(土)、21日(日) ※2日に渡る工程 両日共9:30～16:30
- 指導 東京藝術大学漆芸研究室
- 対象 住所年齢不問(付き添いなくても1人で参加できる人)
- 定員 10人(先着順)
- 参加料 2,900円
- 申し込み 6月28日(火)～8月18日(木)の9:00～17:00の間に電話でお申し込みください。休館日は除きます。

## 穂高交流学習センターみらい

TEL 81・3111 FAX 82・0966

## マイ・コレクション展 ～なつかしの映画パンフレット～

映画館を彩ってきた映画パンフレットは、実は日本の独特な文化の一つと言えるものです。今回の展示会では、市民が収集した昭和30年代以降の洋画・邦画パンフレット数十点を展示します。デザインが特徴的なもの、懐かしいヒット作、名誉市民である熊井啓監督作品のパンフレットなども並びます。

- 会期 6月24日(金)～7月26日(火)(木曜休館)
- 展示場所 交流ギャラリー(ショーウィンドー内)

## 豊科郷土博物館

TEL FAX 72・5672

夏季特別展 安曇野の昭和の子ども  
～学ぶ・遊ぶ・暮らす～

野山や川、空き地で遊ぶ子どもたちを見かけることが少なくなったのはいつごろからでしょうか。日本の社会や私たちの暮らしは昭和という時代を境に大きく様変わりしました。懐かしい昭和の子どもたちの暮らしをご覧ください。

- 会期 7月16日(土)～8月28日(日)
- 入館料 大人300(240)円( )内は20人以上の団体料金
- ※小中生・市内在住の75歳以上の人は無料です。
- 休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)

## 展示説明会と昭和の紙芝居を見よう

夏季特別展の展示説明会と、戦時下の紙芝居や、昭和10年代の安曇野の暮らしを描いた絵本の朗読会を開催します。

- 日程 7月23日(土)

- 展示説明会 10:00～館職員

- 紙芝居・朗読 11:00～村西京子さん

※入館料が必要になります。  
※事前の申し込みは不要です。

ブリキのおもちゃ  
(昭和40年代)

高家中学校の修学旅行(昭和23年・善光寺)

体験!安曇野の昔の暮らし  
参加者の募集

夏季特別展にあわせて、昔の暮らしを体験する講座を開催します。

国の重要文化財に指定されている「曾根原家住宅」で、実際に田舎裏に火をおこし、田舎裏端で太平洋戦争のころの子どもの暮らしについてお話を聞きます。ほかにも大麦を使った虫かごを作って、昭和の子どもの暮らしを体験します。昼食はぬかど(昭和の中ごろまで使われた炊飯用のかまど)で炊いたご飯をいただきます。小中学生を対象としますが、親子や大人の参加も大歓迎です。

- 日時 7月30日(土) 9:00～14:00

- 場所 豊科郷土博物館と曾根原家住宅(郷土博物館集合解散・バスで移動します)

- 講師 矢口健陽見さん(穂高郷土資料館)

- 対象 小学3年生以上(未満の場合は保護者同伴)

- 定員 20人(先着順)

- 受講料 700円(保険・資料代など)

- 協力 安曇野市ブランド推進室ぬかど隊のみなさん

- 申し込み 7月1日(金)～28日(木)の間に、博物館窓口に参加費を添えてお申し込みください。

※豊科郷土博物館は6月27日(月)～29日(水)の間、くん蒸作業のため休館となります。

## 田淵行男記念館

TEL 72・9964 FAX 88・2010

## 田淵行男の足跡を巡る 上高地日帰りバスツアー 参加者の募集

田淵行男が初めて上高地に足を踏み入れたのは昭和5年夏のこと。以来、大正池など被写体になる豊かな要素をそろえている上高地で、田淵独自の視点を探し、シャッターを押し続けました。今回、田淵が撮影に訪れた場所などを歩き、足跡をたどります。(田淵行男記念館・友の会共催事業)



- 日時 7月23日(土) 7:30～17:00(予定)
- 集合・解散 田淵行男記念館(貸切バス使用)
- 行程 上高地バスターミナルから明神池付近まで往復約6\*メートル歩きます。
- 講師 館職員・上高地ビジターセンターパークボランティア
- 定員 40人程度(先着順)
- 条件 小学生以上の健康な人
- 参加料 1人2,000円(バス代・保険代など)

※友の会会員は1,000円

- 持ち物等 昼食、飲み物、歩きやすい服装と靴、帽子、筆記用具、雨具、リュックサックなど
- 申し込み 6月28日(火)より電話で受け付けします。参加費は当日徴収します。

## 田淵行男記念館親子講座①②③

夏休みの自由研究は、安曇野の生き物をテーマにしてみませんか。

- 対象 小学生以上、保護者と一緒にご参加ください。
- 参加費 無料(別途入館料1人300円が必要。小中学生は無料)
- 持ち物等 歩きやすい服装と靴、帽子、飲み物、筆記用具など
- 申し込み 6月29日(水)より電話で受け付けします。

## ①ライトトラップ(昆虫採集)

夜に活動する昆虫の光に集まる習性を利用して、昼間には発見できない昆虫のを見つけ方や昆虫標本の作り方を学びます。

- 日時 7月29日(金) 19:00～21:00

- 場所 記念館とその周辺

- 講師 記念館「むしの会」ボランティア

- 定員 親子15組(先着順)



## ②日光写真の作り方講座

感光紙と透明の板だけで、写真を撮ります。フィルムができる前から使われてきた、像を写し取る方法です。田淵行男も本作りにこの日光写真の原理を用いました。

- 日時 7月30日(土) 9:30～10:30の2回

- 場所 記念館とその周辺

- 講師 記念館職員

- 定員 各回親子10組(先着順)



## ③自然写真の撮り方講座

デジタルカメラを使うと、細かく、そして楽しく生き物の色やかたちを記録することができます。そこで、デジタルカメラの機能を存分に使うコツをお教えします。ご自宅にあるデジタルカメラを持参のうえ、ご参加ください。

- 日時 7月30日(土)

- ▷13:30～ ▷15:30～ の2回

- 場所 記念館とその周辺

- 講師 自然科学写真協会会員(SSP)、田淵行男記念館職員

- 定員 各回親子10組(先着順)



## 貞享義民記念館

TEL 77・7550 FAX 77・7551

信州の義民を訪ねて～その7～  
「高遠興津(おきつ)騒動」  
参加者の募集

江戸時代後期、高遠藩で起き「わらじ騒動」とも呼ばれた百姓一揆とは、どのような一揆であったのか。そしてその結末はどうであったのか。歴史の中に秘められた、権力に立ち向かった農民の姿を訪ねます。

- 日時 7月14日(木) 7:50集合(解散予定18:00)

- 集合場所 記念館ロビー

- 見学地 伊那市立歴史博物館、富士見町興津屋敷跡、西洗馬光輪寺等騒動関連史跡

- 定員 32人(先着順)

- 参加費 1,000円

- 持ち物 昼食、飲み物、雨具

- 申し込み 記念館まで電話でお申し込みください。

## 企画展「ピース作品展」

長年、ピース作品を制作してきた平林由美さん・田中トキさん・二木豊子さんのアクセサリーやストラップなどの作品を展示します。

- 会期 6月23日(木)～7月24日(日)

- 時間 9:00～17:00

- ※最終日は15:00まで

- 会場 1F企画展示室

- 入館料 無料(常設展は有料)

- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

## 豊科交流学習センターきぼう

TEL 71・4033 FAX 73・1802

熊井啓監督作品上映会  
「帝銀事件 死刑囚」

市名誉市民である、熊井啓監督のデビュー作「帝銀事件 死刑囚」の上映会を開催します。「社会派」映画監督として高い評価を得た熊井監督の原点をご覧ください。

- 日時 7月17日(日) 開場 13:00 上映 13:30～(2時間程度)

- 場所 多目的交流ホール

●内容 昭和の事件史に名を残す「帝銀事件」の真犯人は誰か?真実を追究するために念入りに調査を重ねた熊井作品の真骨頂。

- 定員 200人

- 入場料 500円

- チケット販売 「きぼう」2階受付カウンターで

- 販売



演技指導する熊井啓